

吉川区内34カ所で五穀豊穣祈る「さいの神」

「さいの神」の時は雪があつた方がいいという願いが通じたのでしょうか。12日の夜から雪が降って、吉川区は山間部だけでなく区内全域が白く覆われました。

豊作を祈る伝統の小正月行事、「さいの神」。区内では12日、13日の両日、代石、河沢、天林寺など33町内会と川谷地区で行われました。昨年は中越沖地震があり、米価の大幅暴落という事態もあつたことから、豊作はもちろんのこと、災害のないことや家族の健康などを願う気持ちが強かつたように思います。



「さいの神」の点火の前に雪遊びをする子どもたち。

は今年も川谷地区でした。グラウンドにつくられた10メートルほどの巨大なサイの神は午後1時に点火。稲藁をたっぷりつかって、しっかりと締めてあつたせいにか、今年のサイの神は火をつけてから燃え落ちるまで、ずいぶん時間がかかりました。途中、風が吹いて、一気に燃え上がる場面が2度ほどありましたが、その度に歓声が上がりました。餅やスルメをあぶって食べるのはどこでもやりませんが、ここでは地元の町内会長さんがカボチャをアルミホイルに包んで火の中に入れて焼き、参加者にふるまってくれました。これがじつに美味かつた。火が消えてからは、雪の中での競技でした。2チームに分かれての雪を積み上げる競争、宝探しなどにもにぎやかで、楽しいイベントでした。

一般会計からの繰り入れで国保税値上げをやめると要請

上越市が、「国民健康保険の財政調整基金が底をつき、収支に見合う税率の見直しが必要になつている」との見解を明らかにしたのは暮れの12月議会でした。

こうしたなか、「上越市の国保をよくする会」の宮崎陽代表などのメンバーが市役所を訪れ、「負担増で市民が苦しむことのないよう、新潟市等のように一般会計からの繰入で国民健康保険税の値上げを行わないこと」を文書で要請しました。この要請には私も同席しました。

応対した村山副市長は、「急に負担が増えないうよう調整が必要だ。1月末の国保運営協議会で相談して決めたい」とのべました。

12月議会に市が示した資料によれば、20年度の「一人あたりの保険税額の見込み」で、



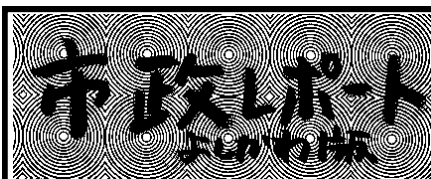
要請の中では、「いまでもいろんな負担が増えてたいへんだ。何とかして」「署名活動を始めたが、多くの市民が関心を持っている」などの声が……。



アジサイが芽吹き

びっくりしました。アジサイがもう芽吹きを始めたのです。今年も暖冬ですね。写真は12日、石谷にて撮影。

現行税率では、6万3200円のところ2万1000円の不足が生じるとしています。これを全額増税でやるとすれば、30%を超える大幅な値上げとなり、国保加入世帯の暮らしに大打撃となります。



NO 1330
2008.1.20

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪法一
Tel 548-3628 (有線) 4867
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
URL http://www.hose1.jp/

吉川区での「ご意見を伺う会」はとても活発でした…自治基本条例(案)

上越市自治基本条例(案)についてのご意見を伺う会が11日、吉川コミュニティプラザで開催されました。参加者は30人ほどでしたが、とても活発な質問や意見が出されました。

市役所企画政策課自治推進室のスタッフが条例策定の背景やポイントを説明した後、次々と手があがりました。「盛んに協働をいうが、市が逃げ道をつくらうとしているのではないか」「もっと平易な言葉で条文を書いてほしい」

「底辺で生活している弱者の立場に立った文言を入れて」「この基本条例と関連し、別に新たにつくる条例は何か」などの質問や意見をうけ、説明側は丁寧に答えていました。

池田自治推進室長は、「これだけいろんな声が出ると助かります」と感想をのべていました。



17日から朝の挨拶をはじめました。見かけたら、

声をかけてください。

地域事業費、この3年間の執行率トップは吉川区

いま市政で大きな問題となっていることの1つは地域事業費です。合併後の各区(および合併前上越市)にとっては、今後の地域の活性化に大きな影響を及ぼすだけに、みんな注目しています。

こうしたなか、吉川区はどうなっているかについて質問が寄せられていますので、お知らせします。下表をじっくりとご覧ください。数値は市役所の企画政策

課が作成した第5次総合計画財政フレームにもとづくものです。

この表で注目されるのは、これまでの執行率です。平成19年度の年度末までを視野に入れた執行率の第1位は吉川区でした。次いで第2位は名立区、第3位は合併前上越市です。吉川区へはあまり金が来なかったという人がいますが、事実と反します。

地域区分	平成18年1月確定額 A	第5次総合計画(改定版)				
		配分額 B	増減額 (B-A)	増減率 (B/A)	平成17~19年度分 みなし執行額	平成17~19年度分 みなし執行率
合併前上越市	362.89億円	288.17億円	▲74.72億円	▲20.6%	113.53億円	39.4%
安塚区	23.90	19.36	▲4.54	▲19.0%	5.76	29.8
浦川原区	19.13	14.71	▲4.42	▲23.1%	4.00	27.2
大島区	17.47	14.34	▲3.13	▲17.9%	3.49	24.3
牧区	17.94	15.23	▲2.71	▲15.1%	4.41	28.9
柿崎区	39.42	30.16	▲9.26	▲23.5%	10.44	34.6
大潟区	33.24	30.06	▲3.18	▲9.6%	10.10	33.6
頸城区	31.00	28.72	▲2.28	▲7.4%	9.26	32.2
吉川区	24.81	19.33	▲5.48	▲22.1%	8.05	41.6
中郷区	28.04	22.96	▲5.08	▲18.1%	8.22	35.8
板倉区	33.10	26.48	▲6.62	▲20.0%	8.96	33.8
清里区	14.29	11.30	▲2.99	▲20.9%	3.93	34.8
三和区	28.20	24.33	▲3.87	▲13.7%	6.05	24.9
名立区	10.02	6.60	▲3.42	▲34.1%	2.63	39.8
合計	683.45	551.75	▲131.70	▲19.3%	198.84	36.03